



かとう しょうご
加藤 将伍

緊急車両がスムーズに家の前まで
進入可能な道路整備を目指すため

動画で一般質問を
ご覧いただけます



狭あい道路の整備の考えは

答弁 区長要望を踏まえ、事業検討を行う

問 道路整備における優先順位に、地元住民の声、地域の要望は反映されているのか。

答 身近な要望をまとめた区長要望として提出いただき、雨水修繕や舗装修繕を実施している。

問 行政が主導し、自治会との連携無しに、有事の際に緊急車両がスムーズに進入できる安全な道路整備は進まない。狭あい道路の整備の見解は。

答 区長要望を踏まえ、市全体の路線整備の優先順位を決めた上で、事業検討を行っていく。

アクティブシニアの活躍支援の推進を

問 シルバー人材における就業開拓や職域拡大、女性会員の活動推進に対する現状と課題は。

答 現状は既存業務の人員確保が中心。受注業務と会員希望を両立できるよう支援する。

本市にチームオレンジ設立を

問 認知症への理解を広め、認知症の方々が暮らしやすいまちづくりを目指し活動する団体「チームオレンジ」を本市に設立する考えは。

答 県が任命しているオレンジチューターの支援を受け、団体設置に向けた準備を進めている。



みんなで広める
認知症サポーター支援の輪



あらい ひとし
新井 均

質の高い介護環境の整備・
健康寿命の伸長

動画で一般質問を
ご覧いただけます



介護職員の大幅増員対策は

答弁 県と市の施策により数と質の向上を図る

問 本市は高齢化率が県平均よりも約7%高い。献身的に介護にあたる介護職員の方々の「数・質」の増員・向上等が急務である。この対策は。

答 令和3年に各都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると2040年までに全国で69万人の介護職員を確保する必要があると推計される。本市においては県が実施している介護人材確保総合推進事業等、県と連携して介護職員の人材不足解消を支援する。また、定期的な事業所との情報交換や、国や県をはじめ本市からの情報提供・情報交換を行う。さらに事例検討会や専門的な職種の方から助言を頂き、介護職員の資質向上を図る。

問 健康寿命を伸ばすことは、ご高齢者・ご家族の幸せをつくる。この施策の成果と改善点は。

答 本市は県平均と比較して高齢化率が高く、要介護・要支援の認定率が低い。介護予防教室等の事業により健康寿命が他市町村より長いと推測する。今後は「フレイル予防教室への参加推奨」や「訪問による個別支援」などを充実させる。



くりくり元気体操（たかねサロン）